

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道8号 小松バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：石川県能美市大長野 至：石川県加賀市箱宮町	延長	15.6km								
事業概要	一般国道8号小松バイパスは、交通混雑の解消、交通事故の低減、広域幹線道路ネットワークの強化などを目的とした延長15.6kmの4車線化整備事業である。										
H19年度事業化	S49年度都市計画決定	—		H21年度工事着手							
全体事業費	約100億円	事業進捗率	66%	供用済延長	7.3km						
計画交通量	24,000～38,200台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 5.1 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/事業全体 70/170億円 事業費：37/96億円 維持管理費：33/75億円	総便益 (残事業)/事業全体 358/867億円 走行時間短縮便益：333/752億円 走行経費減少便益：18/80億円 交通事故減少便益：6.6/34億円	基準年	平成27年						
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">[事業全体] 交通量：B/C=4.9～6.0（交通量±10%）</td> <td style="width: 50%;">[残事業] 交通量：B/C=4.4～5.4（交通量±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=5.0～5.3（事業費±10%）</td> <td>事業費：B/C=4.8～5.4（事業費±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=5.0～5.2（事業期間±20%）</td> <td>事業期間：B/C=4.9～5.3（事業期間±20%）</td> </tr> </table>					[事業全体] 交通量：B/C=4.9～6.0（交通量±10%）	[残事業] 交通量：B/C=4.4～5.4（交通量±10%）	事業費：B/C=5.0～5.3（事業費±10%）	事業費：B/C=4.8～5.4（事業費±10%）	事業期間：B/C=5.0～5.2（事業期間±20%）	事業期間：B/C=4.9～5.3（事業期間±20%）
[事業全体] 交通量：B/C=4.9～6.0（交通量±10%）	[残事業] 交通量：B/C=4.4～5.4（交通量±10%）										
事業費：B/C=5.0～5.3（事業費±10%）	事業費：B/C=4.8～5.4（事業費±10%）										
事業期間：B/C=5.0～5.2（事業期間±20%）	事業期間：B/C=4.9～5.3（事業期間±20%）										
事業の効果等	<p>定性的な効果</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日常生活圏の各都市間の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活圏都市間の所要時間が短縮され、地域間のさらなる連携強化が期待できる。 ②物流の円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路ネットワークの強化により、地域産業のさらなる活性化が期待できる。 ③主要な観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの観光地へのアクセス性や周遊性の向上が期待できる。 ④緊急輸送道路としての機能向上 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い道路ネットワークのさらなる強化が期待される。 ⑤地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の実現に大きく貢献。 										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <p>小松市など5市1町で構成される加賀地区開発促進協議会等より整備の要望を受けている。</p> <p>知事の意見：</p> <p>引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、平成34年の北陸新幹線金沢敦賀間の開業を見据え、早期完成を図っていただきたい。</p>										
事業評価監視委員会の意見	<p>審議の結果、再評価及び対策方針（原案）の「事業継続」は妥当である。</p>										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成22年12月に当該事業と隣接する国道8号加賀拡幅事業のうち、加賀市箱宮町～同市松山町間が4車線にて供用。</p>										
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成19年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率66%（平成27年3月末時点）</p> <p>平成24年度：小松市八幡～同市東山町間 延長2.2km（4/4）部分開通</p> <p>平成26年度：小松市東山町～同市津波倉町間 延長5.1km（4/4）部分開通</p>										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>交通状況等を勘案しつつ、早期の全線4車線化に向けて事業を推進する。</p>										

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等に変更は無いが、引き続き新技術の活用によりコスト削減を実施する。

対応方針

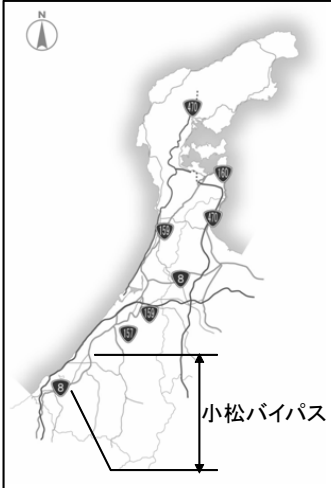
事業継続

対応方針決定の理由

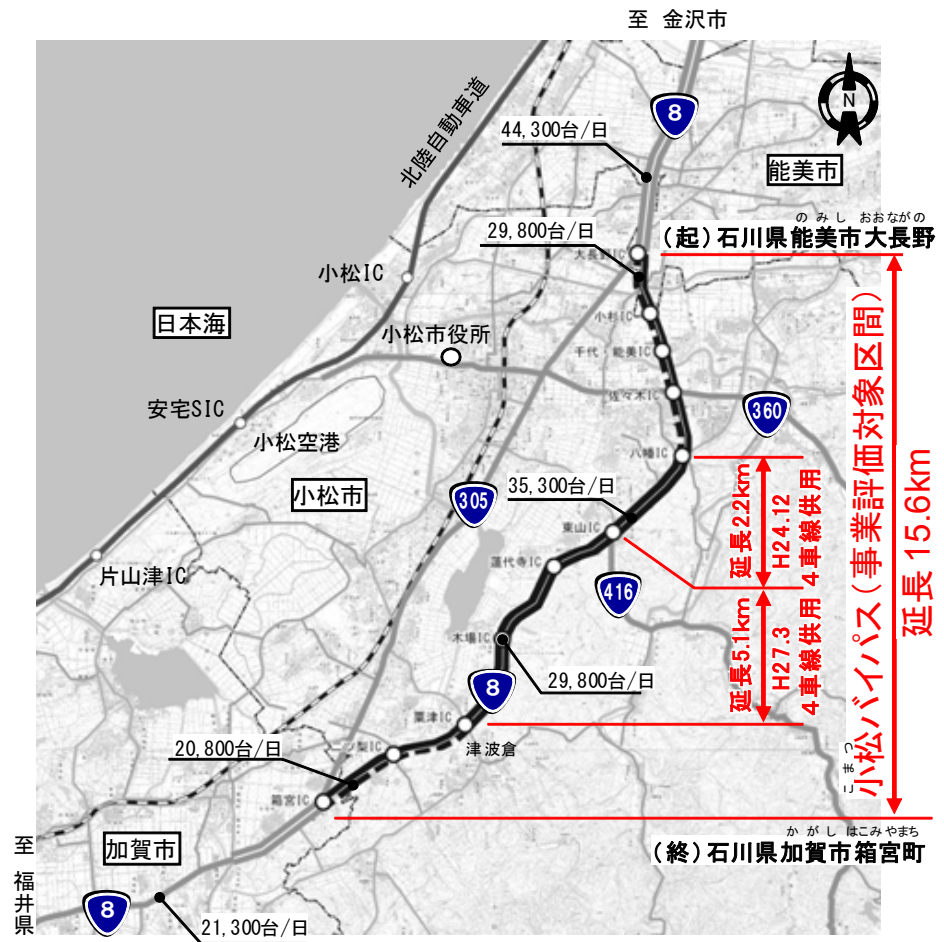
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【広域位置図】



【位置図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。